

講演概要

会長講演 「環境配慮契約法と産業廃棄物処理契約」

株式会社廃棄物工学研究所代表・有害・医療廃棄物研究会会長 田中 勝

環境配慮契約法は、2008年に運用され今年度で16年の実績がある。この法律の目的や産業廃棄物処理の契約における契約類型である裾切り方式等について次の項目順で解説する。

- (1) 「産業廃棄物の処理に係る契約」を環境配慮契約法に含めた経緯
- (2) 「産業廃棄物の処理に係る契約」の「裾切り方式」について
- (3) 「産業廃棄物の処理に係る契約」の評価項目

基調講演 「POPs (Persistent Organic Pollutants : 残留性有機汚染物質) の適正な処理」

環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 課長補佐 切川 卓也

POPs 廃棄物の中で、PFOS 及び PFOA 含有廃棄物の処理に関する技術的留意事項や POPs 廃棄物の適正処理に向けた国内外の動向を説明していただきます。

講演 「高容量リチウム電池等の取扱いについて」

野村興産株式会社 代表取締役社長・研究会理事 藤原 悌

廃棄物処理工場などでリチウムイオン電池等による火災事故が多発しており廃棄方法などの周知について各団体から様々な取り組みがなされています。しかし DX や IoT の進歩により私たちの生活様式の利便性が高まりスマートホームやスマートメーター、そして医療やヘルスケア、超高齢社会に突入し様々な課題を抱えている介護においてもデジタル技術を活用したデジタルヘルスなどで小形電池の需要は高まってきています。これからもより軽量、高容量の電池が身近に使われるようになりますが今後も取り扱いを間違えると火災や爆発事故が多発することが懸念されます。この講演では高容量電池の種類別に構造、そして適正な取り扱いなどについて解説します。

講演 「感染性廃棄物処理におけるリスクマネジメントについて」

元国立感染症研究所 主任研究官・研究会副会長 木ノ本雅通

第27回の本研修会(令2/3/5開催)において「感染性廃棄物のリスク」と題する報告をさせていただきました。今回は前回に引き続き、廃棄物を処理する際に起こりうる感染リスクを無駄なく低減させるべく方策等について「感染性廃棄物処理マニュアル」に沿った形式で、それぞれの場面を想定しながら具体的に提言したいと考えています。